

## 双葉通信【第 246 回】(被災地を行く No.27) “ふくしまの切り捨ては許さない”

2025 年 5 月 26 日 上田 勉

### 涙の御神旗「うれしい」 細川さん、20 年ぶり出陣 相馬野馬追で女性輝く

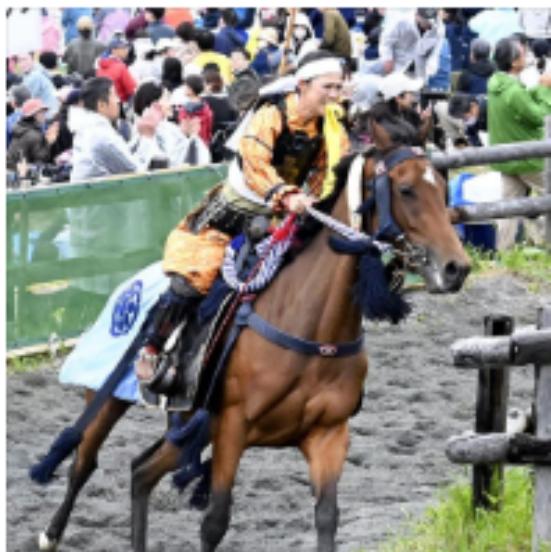
「25 日に福島県南相馬市で行われた国指定重要無形民俗文化財「相馬野馬追」の神旗争奪戦では、「未婚の 20 歳未満」とする女性の出場条件の撤廃に伴い今年、20 年ぶりの出陣がかなった中ノ郷の細川美和さん（39）が御神旗を手にした。「いろんな人に助けられ、感謝の気持ちでいっぱい。うれしいの一言」。思わず涙がこぼれた。

実家は細川牧場（飯舘村）を営み、馬に囲まれて育った。野馬追には小学 1 年から出場したが、出場条件を受け、19 歳を最後に出場できなくなった。「螺（かい）の音を聞くと鳥肌が立つ。乗りたくて仕方ない、なんていけないんだ」。出場がかなわない悔しさを抱えていた。

出場条件が撤廃された今年、「20 年待った。ついにこの日が来た」と威風堂々進軍した。若い頃とは体力も違ったが、荒々しい競り合いが繰り広げられる中、御神旗を手にした。「（争奪戦の）中では男。あしたはあざだらけかも」と笑ってみせる。雄姿に会場からは大きな拍手が送られた。

衣装は細川さんを応援し、2 年前に 76 歳で亡くなった母多美子さんが仕立ててくれた。「無事にけがなく終われたのも、天国の母も見てくれていたからかな。姿を見せてあげたかったけど『やったよ。見守ってくれてありがとう』と伝えたい」と声を詰ませた。

野馬追には細川さんをはじめ、活躍する女性の姿があった。「年齢にとらわれず、いろんな女性にも出てもらい野馬追を盛り上げてほしい」と期待を込める細川さん。「おばあちゃんになるまで出たい」と誓った。」（「福島民友新聞」5/26(月) 12:08 配信）



女性の出場条件撤廃で出場を果たし、神旗争奪戦で御神旗を獲得した細川さん



【相馬野馬追が終わって凱旋（がいせん）行列（大熊町）】〈2025年5月25日撮影〉



【凱旋行列の向こうは災害公営住宅（大熊町）】〈2025年5月25日撮影〉